

平成25年12月11日

文化庁長官 青柳正規様

神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会

共同代表:大橋智子・大橋智子建築事務所

上村千寿子・景観と住環境を考える全国ネットワーク

清水伸子・一般社団法人グローバルコーディネーター

多田君枝・「コンフォルト」編集長

多児貞子・たてもの応援団

日置圭子・地域文化企画コーディネーター・粋まち代表

森 桜・アートコーディネーター・森オフィス代表

森まゆみ・作家・谷根千工房

山本玲子・全国町並み保存連盟

吉見千晶・住宅遺産トラスト

e-mail info@2020-tokyo.sakura.ne.jp

FAX 03-6380-8812

新国立競技場建設による

重要文化財聖徳記念絵画館の周辺景観への懸念について

晩秋の候、貴台におかれましてはますますご清祥のことと存じ上げます。

さて2020年のオリンピック・パラリンピックの会場として新国立競技場の建設が建築家のみならず広範な論議をよんでおります。私達は市民の立場から、オリンピックが国際平和と地球環境の未来に寄与することを望むとともに、私達の税金をもって建設される新国立競技場について懸念しております。

当該地・明治神宮外苑(新宿区霞ヶ丘町一番一号)は都心の緑豊かなところで、明治神宮、新宿御苑にも近く、赤坂御所に隣接し、都の風致地区に指定されております。

大正6年、青山練兵場跡地に明治天皇の業績を残すため神宮外苑は造営され、つづいて陸上競技場、水泳場、相撲場などが作られ、わが国のスポーツ発展の牽引力となってきました。明治神宮体育大会(現在の国体)、六大学野球、開かれなかった1940年のオリンピック、1943年出陣学徒壮行会、一時米軍に接收された国立競技場、戦後の復興、自転車練習場、1964年の東京オリンピックなど、たくさんの歴史と悲喜こもごものエピソードが刻み込まれ、それは都民・国民の個々人のかけがえのない記憶ともつながっています。

また聖徳記念絵画館(重要文化財)を正面にする銀杏並木は、東京で最も美しい並木道として都民の憩いの場となっております。この景観と歴史の痕跡はけっして壊してはならないものです。

しかし昨2012年の独立行政法人日本スポーツ振興センターのコンクールで最優秀とされたザハ・ハディド氏の案にはさまざまな問題点を指摘せざるを得ません。

都民・国民である私達は、神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたすために

1964年の東京オリンピックメインスタジアムとなった現国立競技場を改修・リデザインして、風致地区とその景観を守るとともに、「もったいない」という物を大事にする日本の美風、江戸からのリデュース、リユース、リサイクルの伝統を世界にアピールする、環境にローインパクトな国立競技場計画を要望します。

そのほうが緑を減らし、空を狭くする巨大なボリュームの当選案の実現よりも、はるかに「クール・ジャパン（カッコいい日本）」であると思われます。

現競技場に、仮設スタンドなどを加え、職人の手技をつたえる聖火台も残し、改修・再利用することで、大幅なコストダウンはもちろん、東京で2度目の五輪を開催することのメッセージをスマートに世界に打ち出せるのではないかと思います。いみじくもコンクールの審査委員長安藤忠雄氏がいわれたように、競技場は広く市民の論議をふまえ、みんなに愛され、オリンピック後も活用されるものでなければならないと考えます。

要望事項

- 1 文化財保護法第四十五条1項に基づき、重要文化財聖徳記念絵画館の周辺環境の保全のために、有効な施策を講ぜられるよう、切にお願い申し上げます。
たとえば、フランスでは、1977年のフュゾー規制により、定められた地点（パリ市内では45地点）からの歴史的な景観を損なう建造物を建てることを禁止する条例がありますが、わが国でも文化財保護法に基づいて重要文化財の周辺環境の保全を、要望いたします。

質問事項

- 1 わが国で最初に開催された1964年の東京オリンピックのメイン会場である現国立競技場の文化的価値、特にアジア大会、東京オリンピック、サッカーJリーグ、コンサート会場として多くの人の記憶と共に歴史を積み重ねてきた文化資源としての価値について、どのようにお考えでしょうか。
この点についてご回答くださいますようお願い申し上げます。

参考資料

2013年11月25日付、安倍内閣総理大臣、下村文部科学大臣、猪瀬東京都知事、河野独立行政法人

日本スポーツ振興センター理事長あて「新国立競技場建設再考の要望書」

連絡先(ご回答返信先)

113-0001 東京都文京区白山1-36-2-416

共同代表 森 まゆみ 方

神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会